



## 家庭児童相談室の窓から

本誌第71号「福祉見てある記」でも紹介された、NPO法人「オリーブの家」から当相談室に毎月「月刊オリーブ」が届きます。「オリーブの家」は矯正施設を出た方を支援する自立準備ホームですが、最近、グループホームも開設なさったそうです。現状に止まらず、常に歩を進めようという姿勢に、多くのことを学ばせていただいています。

実は、当室でもときおり非行の問題や罪を犯した人の支援についてご相談を受けることがあります。そういうご相談は、偶然、当室につながる事が多く、それまでどこに相談したらよいかかわからず、一人で抱え込んでい

たということが少なくありません。

最近、少年鑑別所などでも、地域援助業務として非行の相談を受けるようになっていきますし、保護司の地域活動拠点として更生保護サポートセンターが続々と開設されています。相談対応の社会資源は整ってきていますが、そういう情報はまだ市民に届いていないようですし、敷居が高いと感じる市民心情は昔とあまり変わらないのかもしれませんが。

社会でつまづいた人の社会復帰には、誰かの理解や支えが本当に大事なのだと思います。そして、支援者にも支えが必要です。

当室もそういう方たちのお役に立ちたいと思います。

(家庭児童相談室 相談員 砂川真澄)

家庭児童相談室の御案内

あなたの支えに…＊  
家庭のこと、子どものこと、自分のこと

熊本学園大学付属社会福祉研究所 家庭児童相談室

家庭や家族に関する問題や、子どもさんのことについて  
ご相談をお受けします。ご心配なこと、お困りなことが  
ありましたら、お気軽にご利用ください。

受付 水曜日10:00～15:00/金曜日10:00～15:00  
(12:00～13:00は昼休み)  
年末年始、祝祭日は休みです。費用は無料です。

相談室電話 ☎ 096-364-8732

発行所 熊本学園大学付属社会福祉研究所

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1 ☎ 096-364-5161 (代)

発行人 所長 黒木邦弘 編集人 社会福祉研究所委員会

印刷所 コロニー印刷 ☎ 096-353-1291



■再生紙を利用しています。

■揮発性有機化合物発生の抑止と紙のリサイクル性に優れた「大豆インキ」を使用しています。